

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公表番号】特表2011-500030(P2011-500030A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-529050(P2010-529050)

【国際特許分類】

A 0 1 K 29/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月7日(2011.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の材料の細長い中央部分と、第 2 の材料の一对の端部キャップおよび柄とを備え、前記中央部分は、前記柄を覆うが、前記柄から離間されるエラストマ袋状体を備え、前記柄は、前記一对の端部キャップを連結する、動物用噛み具であって、

前記袋状体は、長手方向軸と内面とを含み、前記柄は、長手方向軸と外面とを含み、前記長手方向軸に沿う前記袋状体の前記内面は、前記柄の前記外面に対して凹んでいることを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の動物用噛み具であって、

前記中央部分は、外部繊維質層と、前記外部繊維質層のための裏当て層と、前記袋状体とを備えることを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の動物用噛み具であって、

前記裏当て層は、前記外部繊維質層を前記袋状体に固着させることを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 4】

請求項 2 または請求項 3 に記載の動物用噛み具であって、

前記外部繊維質層は、フェルトであることを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 5】

請求項 2 ~ 4 のいずれかに記載の動物用噛み具であって、

前記裏当て層は、熱可塑性材料または熱硬化性材料を含むことを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の動物用噛み具であって、

前記袋状体は、熱可塑性または熱硬化性であるエラストマ材料を含んでいることを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の動物用噛み具であって、

前記一对の端部キャップの少なくとも 1 つは、前記柄の外側に凹部を含み、前記中央部

分は、端部を含み、前記中央部分の前記端部は、前記凹部に係合及び嵌合し、動物による前記端部へのアクセスを防止することを特徴とする動物用噛み具。

【請求項 8】

動物用噛み具を製造する方法であって、

袋状体を備える細長い中央部分であって、2つの端部を有する、細長い中央部分を設ける工程と、

一对の端部キャップであって、該一对の端部キャップはそれぞれ、前記中央部分の前記2つの端部のいずれかを受容する凹んだ部分を有する、一对の端部キャップを設ける工程と、

柄を設ける工程と、

前記一对の端部キャップの一方を前記柄に取り付ける工程と、

前記柄を覆って前記中央部分を配置する工程と、

前記一对の端部キャップの他方を前記柄に取り付ける工程であって、前記中央部分の前記2つの端部の各々は、前記一对の端部キャップの一方における凹んだ部分に係合する、前記一对の端部キャップの他方を前記柄に取り付ける工程とを備え、

前記袋状体は長手方向軸と内面とを含み、前記柄は長手方向軸と外面とを含み、前記長手方向軸に沿った前記袋状体の前記内面は、前記柄の前記外面に対して凹んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の方法であって、

前記柄と前記一对の端部キャップとは、機械的に、または熱可塑性材溶着によって取り付けられることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 8 または請求項 9 に記載の方法であって、

前記一对の端部キャップの1つまたは両方は、前記柄の端部の一方または両方の上に成形された雄ねじと、前記一对の端部キャップの一方または両方の相補的な雌ねじとを設けることによって、前記柄にねじ込まれることが可能であることを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 8 ～ 10 のいずれかに記載の方法であって、

前記柄と前記一对の端部キャップとは、ホットプレート溶着、ホットガス溶着、振動溶着、超音波溶着、電磁誘導溶着、電子ビーム溶着、レーザ溶着、赤外線溶着、マイクロ波溶着、無線周波数溶着、およびスピン溶着のうちの1つによって取り付けられることを特徴とする方法。

【請求項 12】

請求項 8 ～ 11 のいずれかに記載の方法であって、

前記柄は、前記一对の端部キャップの一方と一体成形されることを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 8 ～ 12 のいずれかに記載の方法であって、

前記中央部分は、前記袋状体を覆う、外部繊維質層と前記外部繊維質層のための裏当て層とをさらに備えることを特徴とする方法。